



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル: CASBEE大阪みらい (新築) | 使用評価ソフト: 「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.2)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称)南船場ホテル 新築工事	
建設地	中央区南船場3丁目	
建物用途	ホテル	
建築主		
設計者		
竣工年	2027年9月 予定	
構造/階数	S造 / 9	
敷地面積	497.64 m ²	
建築面積	362.36 m ²	
延床面積	3182.58 m ²	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

B- **BEE = 0.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★

標準計算

	建設	修繕・更新・解体	運用	オンサイト	オフサイト
①参照値					
②建築物の取組み					
③上記+②以外のオンサイト手法					
④上記+オフサイト手法					

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア= 2.7**

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア= 2.9**

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 大阪府大阪市中央区に計画された地上9階建て、S造のホテル。 高効率設備や節水器具を採用し、省エネルギー性を高めた。		その他 特になし
Q1 室内環境 Low-Eガラスを採用し、断熱性能を高めた。 十分な採光、通風が得られるように開口部を計画した。 化学汚染物質対策として、主要な内装材及び取付接着剤はF☆☆☆☆を採用した。	Q2 サービス性能 耐用性に配慮し、更新間隔の長い内装材、配管を採用した。 安定した通信環境となるよう通信設備を整えた。	Q3 室外環境 (敷地内) 周辺に調和する外観とすることで良好な景観となるよう配慮した。
LR1 エネルギー 高効率の設備を採用することで運用時の消費エネルギー削減に努めた。	LR2 資源・マテリアル 水資源保護として自動水栓や節水型便器を採用した。	LR3 敷地外環境 分別回収を推進するための措置として、適切なストックスペースや分別回収容器設置の計画を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.8

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.7
配慮事項		

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		2.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	2.4
配慮事項		

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

- ※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
- ※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
- ※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令（以下、「省令」という）」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]
	- (相当)	0.90
一次エネルギー消費量	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	-	0.76